

# Women for Others

「一粒の麦は、地に落ちて死ななければ、一粒のままである。  
だが、死ねば、多くの実を結ぶ」

〈ヨハネによる福音書 12章24節〉

Most assuredly, I say to you, unless a grain of wheat falls into the ground and dies, it remains alone; but if it does, it produces much grain. <John 12:24>

## 校長あいさつ

福山暁の星女子中学・高等学校は、フランス・パリに本部を置く援助マリア修道会が設立した、キリスト教の精神を基調とするカトリックのミッションスクールです。福山で唯一の女子校として、70年近くの歴史を刻んできました。暁の星は、全ての人間が神の子であり、神にかたどって創造されたかけがえのない存在であるというキリスト教の精神に基づき、生徒一人ひとりの全人格的な発達を目指しています。

学校で知識を学ぶだけでなく、暁の星では、イエス・キリストの母であるマリアさまの生き方の中に、女性としての生き方や考え方を学びます。マリアさまの清らかで勇気ある生き方を通して、自分の生き方を考えて欲しいと願っています。

また、暁の星では、6年間の学校生活をとおして、Women for Others — 他者の幸せのために自己を生かすことの出来る人を育てることを目指しています。みなさんが人として、女性としてどのように生きることが一番人間らしい生き方かを、マリアさまを通して6年間の暁の星の生活の中で学んで欲しいと思います。

是非一度、学校にいらしてください。心よりお待ちしております。



福山暁の星女子中学・高等学校校長  
カトリック司祭

山口道晴

## 校訓



- マリアとともに** マリアの優しさと謙虚さにならい、女性としての完成を目指して歩みます。
- 神に信頼** すべてを神の恵みとして感謝のうちに受けとり、信頼と希望をもって力強く歩みます。
- 己に誠実** 神の子らしく、自分らしく、人間として誠実に歩みます。
- 互いに睦み** 暁の星は「一人ひとりが愛され、大切にされている」ことを実感できる、ひとつの大きな家族です。
- 進んで奉仕** 神からいただいた恵みをまわりの人々と分かち合い、進んで奉仕をします。

## 校章とMarie Auxiliatriceマーク(ワッペン)について



校章の中の星は、夜明けの空に輝く希望の明星です。これは、女性の模範でいらっしゃる聖母マリアさまを表しています。マリアさまのあたたかい愛の光に導かれ、わたしたちの心も希望に満ちて、清純にすくすくと育まれていくようにとの願いを込めたものです。麦は、聖句「一粒の麦が地に落ちて、死ねば多くの実を結ぶ」の心を表しています。これは、わたしたちの奉仕の心によって、他者に、平和と救いの豊かなみりをささげるようにとの願いを込めたものです。



Marie Auxiliatriceとは、フランス語で援助マリアという意味です。これは、福山暁の星学院の設立母体である援助マリア修道会の名称であると同時に、全ての人の母として力強い助けの手を差し伸べてくださるマリアさまを表す言葉です。小舟は私たちの人生航路を象徴しています。私たちの人生は、大海に浮かぶ小舟のように困難や危険に満ちていますが、私たちは援助マリアの助けを頂き、勇気と希望をもって永遠の幸せの港へと航海していくことをこのマークは示しています。